

一般社団法人 自動車再資源化協力機構
リチウムイオンバッテリー共同回収システム参加
使用済自動車解体事業者様向け資料

車両用リチウムイオンバッテリー取外し作業マニュアル

対象車種：シボレー コルベット E-Ray

Chevrolet Corvette E-Ray 車両型式：「-Y2XC-」

ご注意：

本車両には、下記2種類のリチウムイオンバッテリーが搭載されています。
解体作業前には、必ず2つのバッテリーの回収をお願いいたします。

- 駆動用の高電圧リチウムイオンバッテリー
- 始動用 12V バッテリー

ゼネラルモーターズジャパン株式会社

※ 本マニュアル記載内容は、予告なく変更する場合があります。
作業前に編子箇所等最新情報の有無についてご確認ください。

(2024.C8E1)

目次

1. はじめに.....	2
2. リチウムイオンバッテリー適正処理フローの概要と LiB 回収受付窓口.....	3
3. 安全な作業のための注意事項.....	4
4. 安全な回収のための重要事項.....	5
5. リチウムイオンバッテリー取外し作業の流れ.....	7
リチウムイオンバッテリーの放電作業	
リチウムイオンバッテリーの高電圧回路の遮断	
リチウムイオンバッテリーの取外し	
6. リチウムイオンバッテリーの引渡し荷姿、荷造り.....	19
7. 取外しに関する問い合わせ先.....	20

本資料はシボレー コルベット E-Ray の使用済自動車から駆動用リチウムイオンバッテリーを取り外すための資料です。車両の外観とロゴを示しますので、車両の確認をお願いします。



ご注意：本車両には、駆動用の高電圧リチウムイオンバッテリーに加えて、始動用補機バッテリーにもリチウムイオンバッテリーが使用されていますので、両方の回収をお願いします。

1. はじめに

電気自動車からの高電圧バッテリー取外し作業を安全に行っていただくため、車種を確認し、車両がこのマニュアルに該当するモデルであることを確認したうえ、作業開始前にこの取外し作業マニュアルをよくお読みいただき、注意・警告事項の確実に遵守して作業を行ってください。作業が難しいと感じた場合、作業を開始せず問合せ窓口にお問い合わせください。

事故車、水没車の場合には、駆動用高電圧バッテリーの変形や液漏れ、漏電の可能性もありますのでご注意ください。

感電や負傷の恐れがあるため、高電圧部品の取外し作業は、必ず労働衛生安全規則に基づく「低圧電気取扱業務特別教育」を受講した有資格者が作業を行うようにしてください。

駆動用バッテリーは、重量物で重量があるため、定められたツールまたはそれに準拠するツールを使用して取外し作業を行ってください。

電気自動車の駆動系には強力な磁石が使用されている場合もあります。ペースメーカー等の電子医療機器を装着している方は、高電圧バッテリー搭載車の駆動系モーターの取り外しや、解体作業は絶対に行わないでください。本マニュアルは、使用済自動車からのリチウムイオンバッテリーの取外しを行うために作成したものです。廃車時以外の修理目的等の取外し作業として本マニュアルを使用する事は出来ません。

高電圧部位に関連する作業を行う際は、必ず絶縁手袋を含む作業用保護具を装着し作業を行ってください。本マニュアルにおいて絶縁手袋等の装着が必要な作業箇所では、マークを表示していますが、それ以外の箇所でも必要に応じて絶縁、防護具を装着して安全に作業を行ってください。

高電圧バッテリーに関係する作業を行う際は、必ず車両の周囲に「車両では高電圧に関わる作業が行われている事が明確に伝わる表示」を行うと同時に安全なスペースを確保してください。

リチウムイオンバッテリー取扱い時の注意事項

ゼネラルモーターズジャパン（株）では、当社が輸入し販売した電気自動車から取り外された、リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等を認めておらず、それに起因する事故・損害等についてその一切の責任を負いません。

使用済リチウムイオンバッテリーの取扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。

なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

駆動用のリチウムイオンバッテリーの出力電圧は高電圧であり、取扱いを誤ると感電等重大事故の恐れがあります。またリチウムイオンバッテリーの取扱い時には以下の項目を遵守してください。

- 分解、改造など、バッテリーを加工しないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃、変形を与えないこと（バッテリーは過大な衝撃が加わると火災や液漏れを発生するおそれがあります）
- 継続的な直射日光や雨水があたらない場所で保管すること
- 取外したバッテリーを火に近づけたり、加熱したり、高温化で保管しないこと

本マニュアルに記載されている方法以外の方法で取外し作業及び取扱いを行い、リチウムイオンバッテリーの損傷あるいは感電や負傷などを負った場合、ゼネラルモーターズジャパン（株）は一切の責任を負いません。

2. リチウムイオンバッテリー適正処理フローの概要と LiB 回収受付窓口

注意：リチウムイオンバッテリーを搭載した車両をそのままソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取外してください。

(1) 取外し後のリチウムイオンバッテリーの適正処理フロー

下記①～④のステップでリチウムイオンバッテリーは引取り・適正処理されます。

① 引き取り依頼：

排出事業者（解体事業者等）は、指定の引取り窓口（自動車再資源化協力機構の「引取依頼システム」）にリチウムイオンバッテリーの引取を依頼します。（注：引取依頼を行うためには、事前に事業者登録を行う必要があります。）

② リチウムイオンバッテリーの引取り：

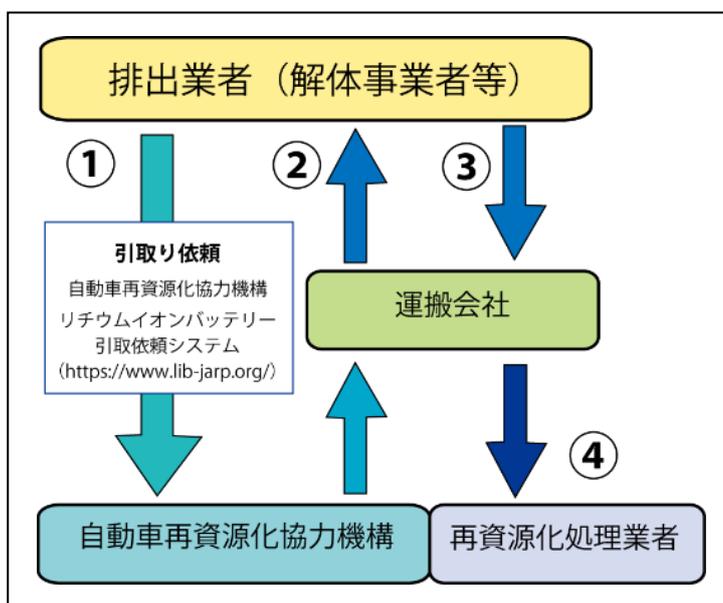
自動車再資源化協力機構（以下、自再協と表記します）は、自再協から委託を受けた運搬会社に、排出事業者（解体事業者等）からリチウムイオンバッテリーの引取りを行うように指示をします。

③ リチウムイオンバッテリーの引渡し：

リチウムイオンバッテリー排出事業者は、自動車メーカー等が取外しマニュアルで定める荷姿にしたリチウムイオンバッテリーを運搬会社に引き渡してください。

④ リチウムイオンバッテリーの適正処理：

排出事業者が引き渡したリチウムイオンバッテリーは自再協より委託を受けた再資源化処理事業者によって適正に処理されます。



<LiB 回収受付窓口>

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

⇒リチウムイオンバッテリー(LiB)引取依頼システム (<https://www.lib-jarp.org/>)

<LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問い合わせ先>

自動車再資源化協力機構（自再協）－ JARP－

LiB 回収グループ

info-libsystem@jarp.org

0570-000-994 【平日 9:00～17:00（年末年始及び土日祝祭日を除く）】

⑤ 取外しに関する問い合わせ先は、本紙 19 ページを参照願います。

3. 安全な作業のための注意事項

危険：守らないと死亡、又は重大な障害につながる事項及び作業要領

警告：守らないと生命の危険、又は重大な障害につながるおそれのある事項

警告：以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。

- 高電圧リチウムイオンバッテリーの取扱いを誤ると感電などのおそれがあります。取扱い時は、作業手順に従い正しい作業を実施してください。
- 高電圧系の作業を実施する際は、必ず絶縁保護具を着用してください。
- 高電圧系のハーネス、及び部品の取扱い時は、事前に高電圧回路を遮断するため、必ずサービスプラグの配線を切断し、一次電源（12V）からの電気の流れを遮断してから作業を行ってください。
- 高電圧作業時は、作業担当者を明確にし、他の人が車両に触れないようにしてください。また、作業時以外は高電圧部品に担当者以外が触れることが無いような対策を講じてください。
- 落下などでリチウムイオンバッテリーに大きな変形や破損させるような衝撃を与えないでください。

(1) 高電圧ハーネス、機器の識別 高電圧ハーネス、機器の識別

高電圧ハーネス、コネクタはオレンジ色に統一してあります。

また、リチウムイオンバッテリーをはじめ高電圧機器には「高電圧」をしめす警告ラベルが貼り付けてあります。これらのハーネスや部品に保護具無しで触れてはいけません。

(2) 身体の金属装飾品等の取外しと作業中の携帯禁止

高電圧リチウムイオンバッテリー搭載車両には、高電圧を発生したり強力な磁力を持つ部品が使われています。高電圧リチウムイオンバッテリーに関連する作業を行う際は、短絡のおそれのある金属製品（腕時計、指輪、金属のネックレスなど）を体から取り外すか、絶縁処理を行ってください。さらに、ズボンのベルトバックル表面に金属がある場合には、絶縁テープで金属部分を被うか、バックル位置を体の前面以外の位置へずらしてください。また、磁気記録媒体（キャッシュカード、プリペイドカード等）を身につけて作業を行うと磁気記録破壊のおそれがあります。取外して、安全な場所へ保管してください。

(3) 安全な作業のための保護具について

安全に車両から高電圧リチウムイオンバッテリーを取り外す作業を行う作業者は、基準を満たした下記の保護具を装着して作業を行う必要があります。

保護具	使用方法等
絶縁ゴム手袋（1000V までの高圧作業用）	高電圧部品の取外し作業
革手袋（レザープロテクター）	絶縁ゴム手袋の上から着用する
絶縁タイプの作業靴	高電圧部品の取外し作業
保護作業メガネ	ショート時の火花からの眼の保護

また、作業に際しては、絶縁テープも準備しておいてください。

(4) 高電圧コネクタ、端子の処理

取外した高電圧ハーネスコネクタや端子部分は、取外し後直ちにリチウムイオンバッテリー側の端子に絶縁テープを貼り絶縁してください。

(5) 取外したリチウムイオンバッテリーの保管

雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で保管してください。

取外したリチウムイオンバッテリーを火に近づけたり、加熱したり、周囲に高温の熱源がある場所で保管しないでください。

(6) 「高電圧・作業中」の表示

高電圧系の作業を行っている車両には「高電圧・作業中につき注意！」の表示を行い、他の作業者にも当該車両は高電圧系の作業中であることがわかるように表示してください。



4. 安全な回収のための重要事項

(1) 高電圧回路の遮断

電気自動車は、最大 400V 程度の高電圧バッテリーが搭載されています。リチウムイオンバッテリーの取外し作業を行う前に、必ずリチウムイオンバッテリーパック内で高電圧回路の開閉の制御を行う、電源回路へ低圧電気（12V）を供給している低電圧ケーブルを、黄色い絵文字表示の有る部分で2か所切断し、回路を遮断してください。

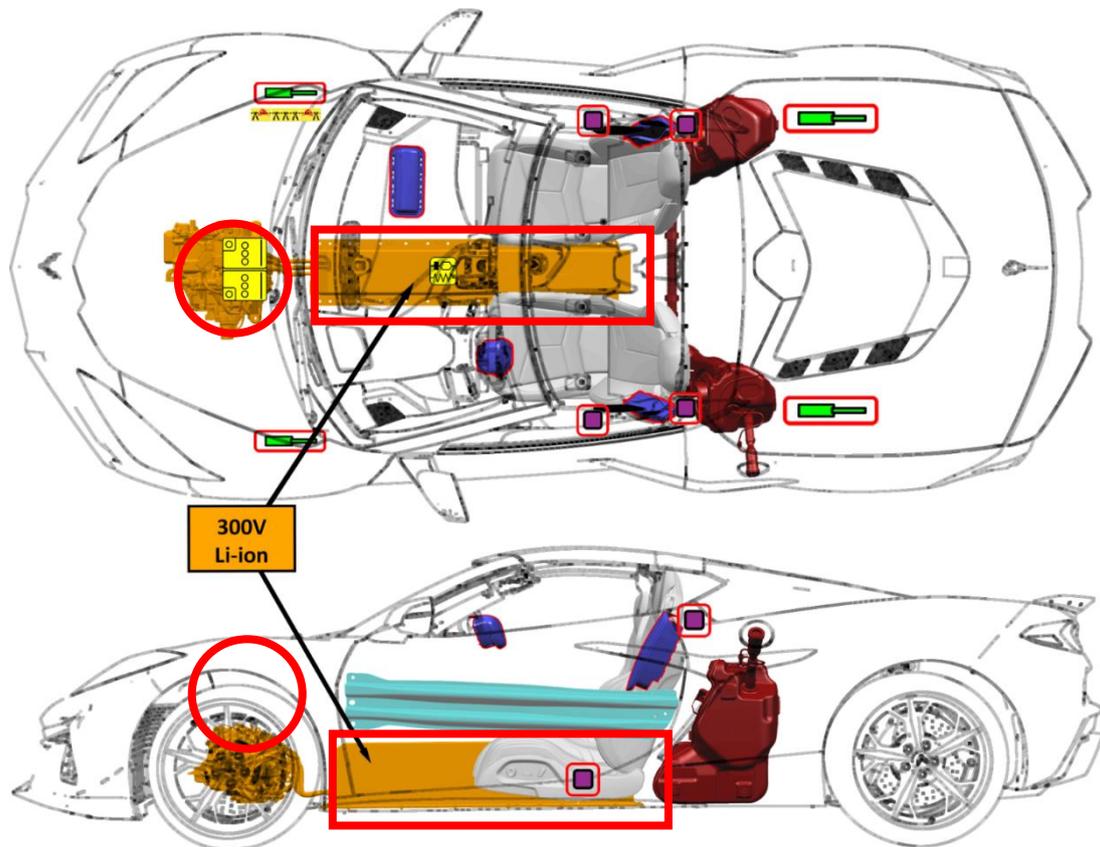
その配線を切断せず高電圧部位の解体、分解、切断等を行うと感電による重度の火傷又は重大傷害や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

(2) 高電圧コネクタ、端子（オレンジ色）の処理

電気自動車から取外したリチウムイオンバッテリー内部には依然として高い電圧を保ったバッテリーがあるため取扱いに注意が必要です。高電圧ハーネスを取外したオレンジ色のコネクタ端子は、コネクタを取外したあと、直ちに絶縁処理を行ってください。

(3) コルベット E-Ray に搭載されているリチウムイオンバッテリー

- コルベット E-Ray には、駆動用の高電圧リチウムイオンバッテリー（下図の赤い□の部分）に加えて、始動用補機バッテリーにもリチウムイオンバッテリーが使用されています（下図の赤い○の部分）
- 使用済自動車解体する際は、駆動用の高電圧リチウムイオンバッテリーだけでなく、始動用補機リチウムイオンバッテリーも事前に取外し、回収システムへ引き渡す必要があります。



5. リチウムイオンバッテリー取外し作業の流れ

リチウムイオンバッテリー取外し作業は次のステップで行います。

- Step 1. 駆動用リチウムイオン高電圧バッテリーの放電作業
- Step 2. リチウムイオンバッテリーの高電圧回路遮断の準備作業
- Step 3. リチウムイオン補機バッテリーの取り出し
- Step 4. 駆動用リチウムイオン高電圧バッテリーの取外し

Step 1. 駆動用リチウムイオン高電圧バッテリーの放電作業

リチウムイオンバッテリーの充電量を確認し、バッテリー残量が 50%以上の場合には、放電作業を行い、バッテリー充電残量の水準を下げます。

1. 放電手順

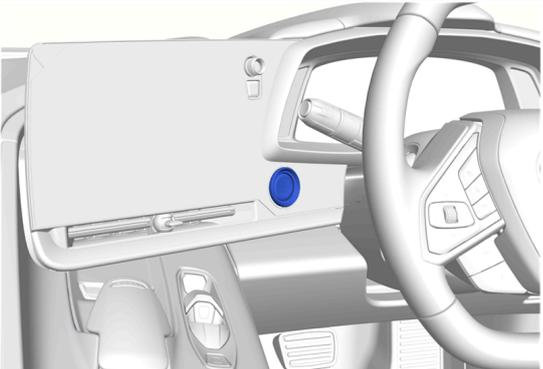
- a パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを P にし、車両を確実に停止状態にする。
- b ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを 5 秒間押し、車両電源が ON/RUN(Power)状態になった事を確認したら車両のメーターでバッテリー残量を確認する(50%以下の場合には、Step2.を行う)
- c エアコンシステムを手動で作動させ、リチウムイオンバッテリーを放電する。
 - ① A/C スイッチ、HEAT スイッチを押し、表示灯が点灯していることを確認する。
 - ② 温度調節スイッチで最高温度まで上げ、ファン調節スイッチを操作して最大風量に設定する。
 - ③ リチウムイオンバッテリー残量計が半分以下になったらパワースイッチの電源ポジションを OFF にして、放電作業を終了する。

Step 2. リチウムイオンバッテリーの高電圧回路遮断の準備作業

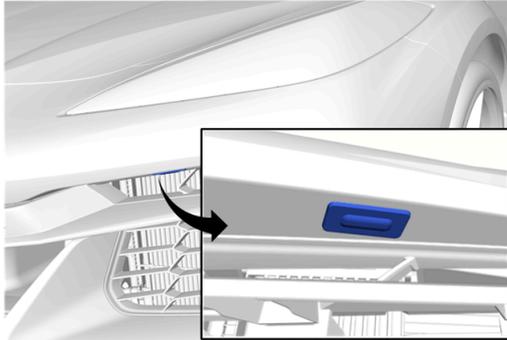


電動パーキングブレーキ(EPB)をかける

- 1. EPB スイッチを押します。
- 2. EPB が完全に作動すると、赤色のパーキングブレーキステータスランプが点滅し、その後点灯したままになります。

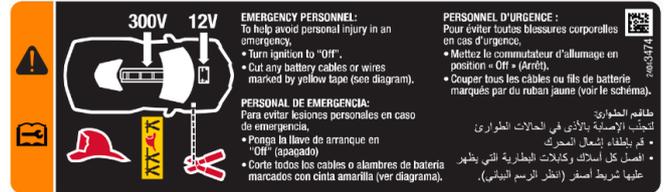
	<p>P(パーク)へシフトする</p> <ol style="list-style-type: none"> シフトレバーボタンの P ボタンを押して、P (パーク)へシフトします。
	<p>車両の電源を切るには、シフトレバーボタンの P ボタンを押して、トランスミッションを P(パーク)にシフトした後、パワーボタンを押して車両の駆動を停止します。</p> <p>注意：</p>  <p>高電圧システムは、車両スイッチが OFF の状態でもこの段階では、通電を維持しています。</p>
<p> 車内からのフロントフードリリース</p>	
	<p>スイッチでフードを開く場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> トランスミッションを P(パーク)に入っている事を確認したら、運転席側ドア下側付近にあるリリースボタンを押すと、フロントフードが開きます。 車両のフロント側からフロントフードを少し持ち上げたあと、ロックレバーを操作しロックを解除すればガスストラットシステムが自動的にフロントフードを全開位置まで開いて保持します。
	<p>手動でフードを開く場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 助手席側奥にある手動リリースケーブルのループの位置を確認します。 手動リリースケーブルを 2 回引くとフロントフードが開きます。 車両のフロント側からフロントフードを少し持ち上げたあと、ロックレバーを操作しロックを解除すると、ガスストラットによりフロントフードは全開位置で保持されます。

🚗 車外からのフロントフードリリース

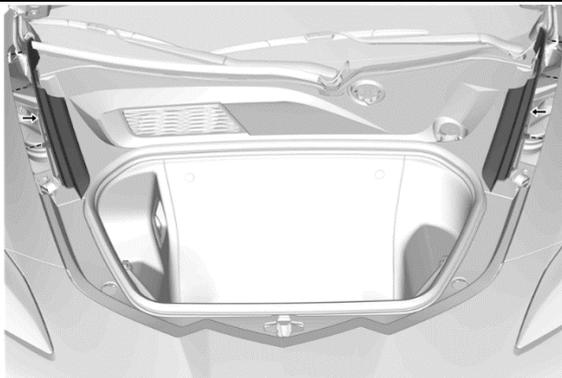


1. 左側のヘッドランプ下のグリル開口部のタッチパッドの位置を確認します。
2. タッチパッドを1回押すとフロントフードが開きます。
リモコンキーがフロントフードから1m以内の範囲にある必要があります。

車両のフロント側からフロントフードを少し持ち上げたあと、ロックレバーを操作しロックを解除すると、ガスストラットシステムが自動的にフロントフードを全開位置まで開いて保持します。

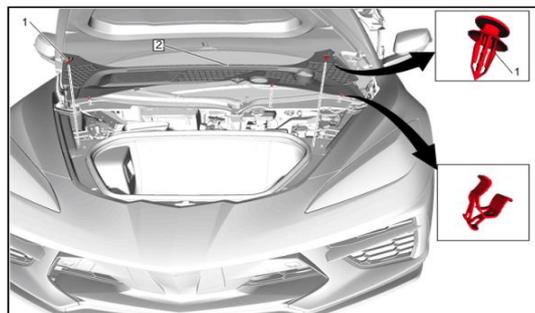


バッテリー警告ラベルは、車両右側のフロントコンパートメントサイドシールドに貼られています。

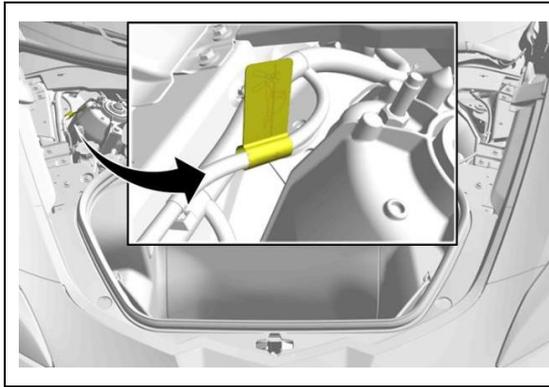


低電圧ケーブルへのアクセス方法：

1. フロントコンパートメントのサイドシールドを内側に引いてリテーナーを外します。
左右のサイドシールドを取り外します。

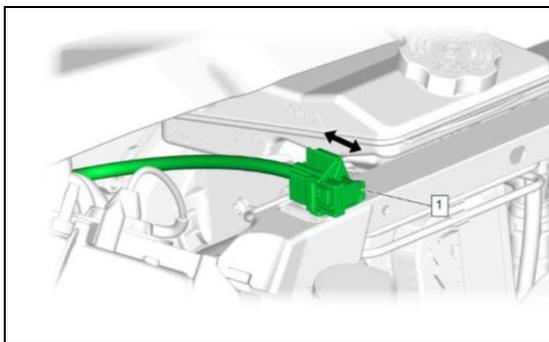


2. 車前側のフロントフードを開き、荷物室後方のアクセスカバー[図の2]を外します。
3. カバーは、[1]のクリップ2個と、後方のリテーナー3個で止まっています。

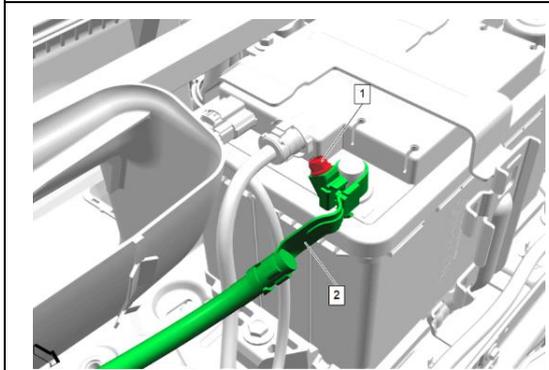


4. フロントコンパートメントの車体右側奥に、黄色いタブの付いた配線が有ります。
その配線を、タブの両側でカットします。
(この作業で、12V バッテリーからの制御用電源が遮断されます)

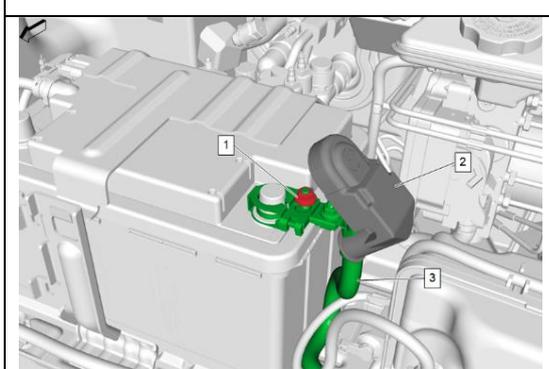
Step 3. リチウムイオン補機バッテリーの取り出し



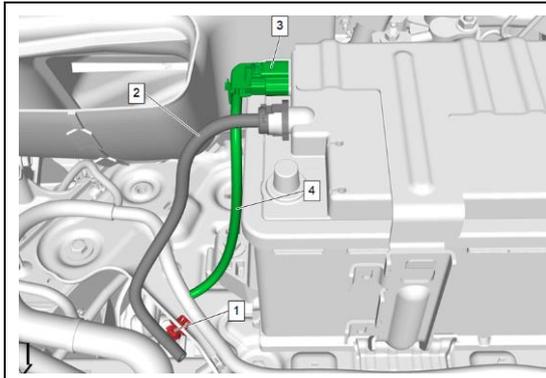
1. 更に、念のために、アクセスカバー下側にある高圧電流遮断コネクタの赤い部分を持ち上げてから、コネクタタブを押しながら、インジケータタブの表示がオンからオフに変わるまでコネクタを引き抜きます。間違ってもコネクタを再び押し込んでしまわないように、コネクタを引き出して現れた穴にタイラップあるいは、棒状のものを外れないように差し込みます。



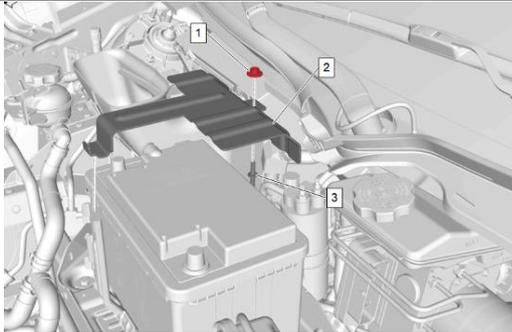
1. バッテリーの(-)端子部分のナットをゆるめマイナスケーブルを外します。



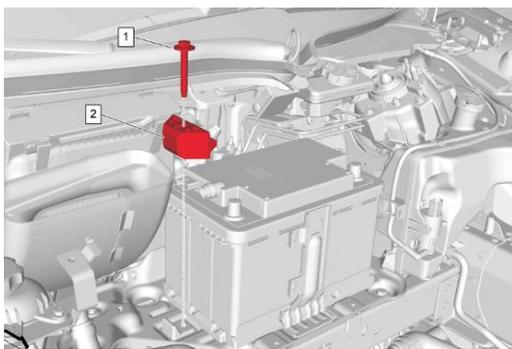
1. バッテリーの(+)端子部分のナットをゆるめプラスケーブルを外します。



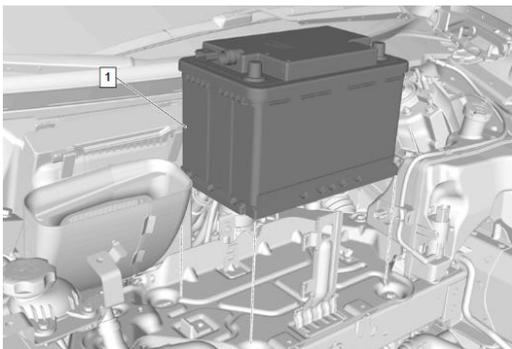
1. バッテリーから換気チューブ[2]を外します。
2. バッテリーにつながっている電気コネクタ[3]を外します。
3. 電気コネクタ[3]の配線[4]を脇へずらします。



1. バッテリーを上側で止めているブラケットを外します。



1. バッテリーを下側で止めているブラケットを外します。

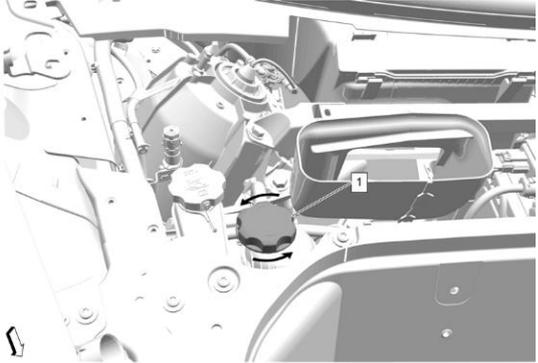
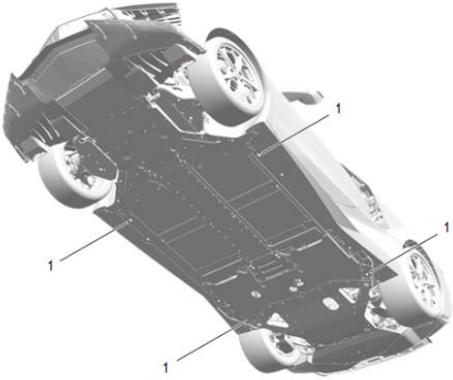
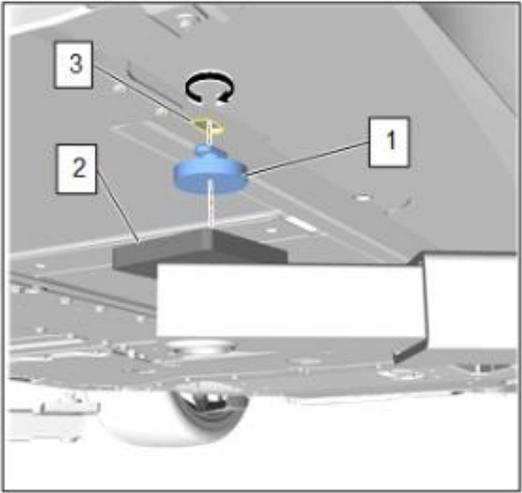


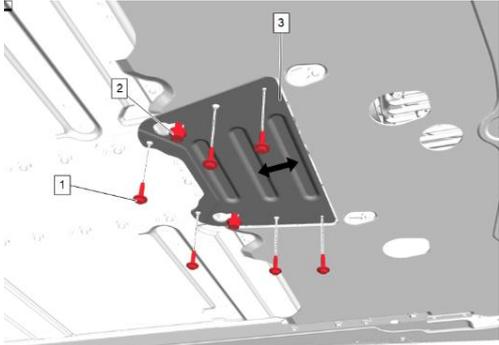
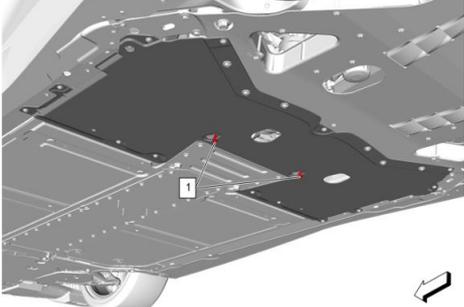
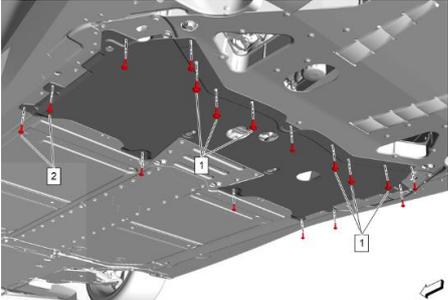
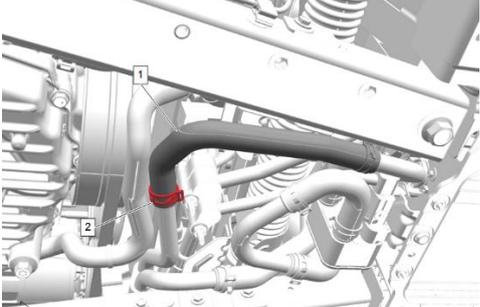
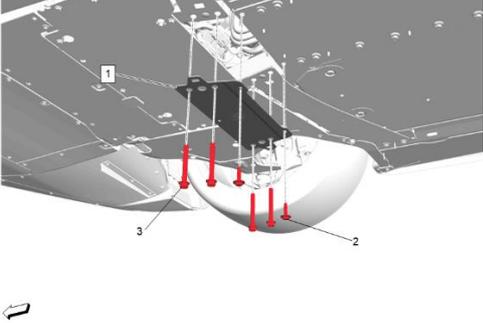
1. リチウムイオン補機バッテリーを取り外します。

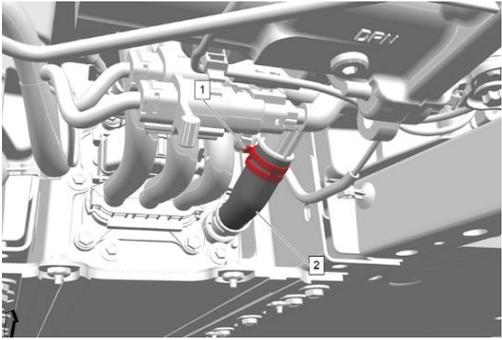
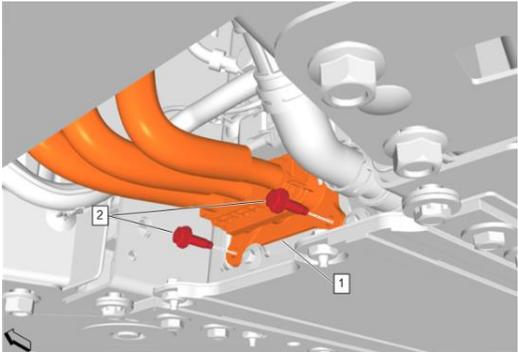
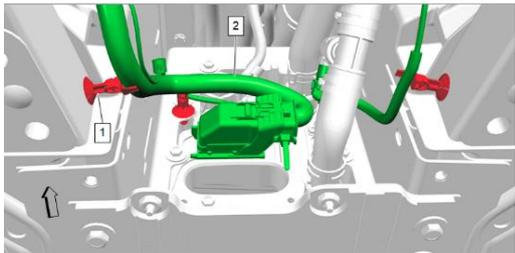
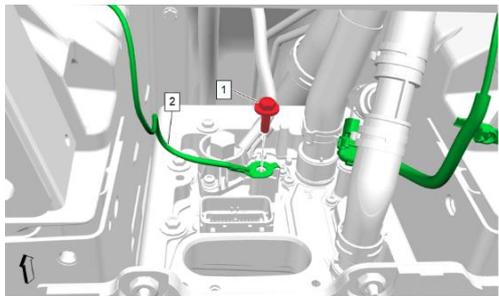
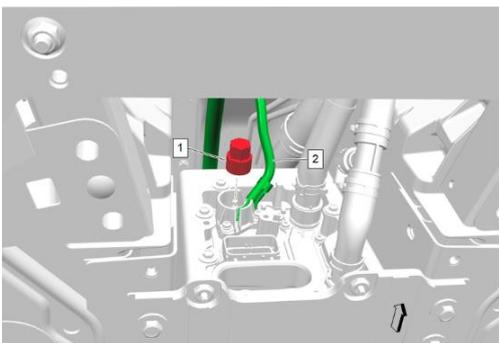


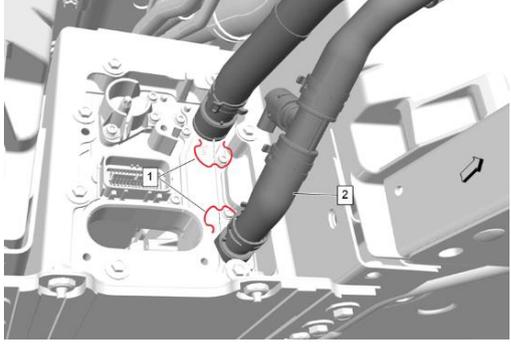
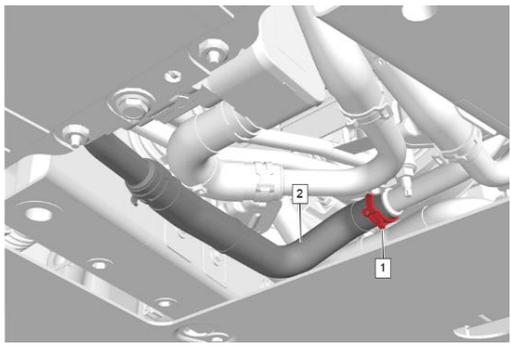
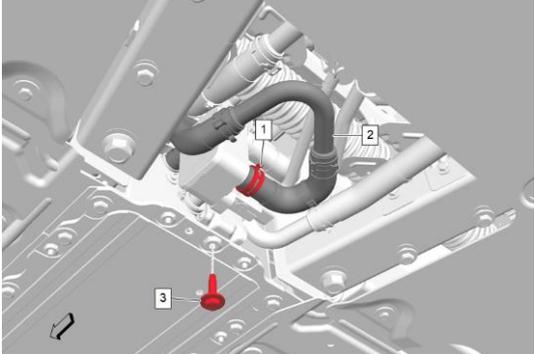
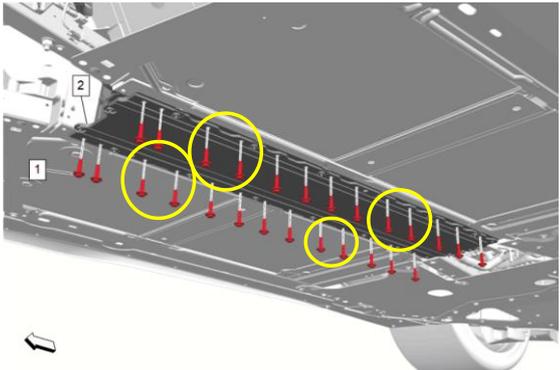
12V の低電圧ケーブルを取り外した後、キャパシタ等の予備エネルギーを放電させるために最低 1 分間は次の作業は行わないこと。

Step 4. 駆動用リチウムイオン高電圧バッテリーの取外し

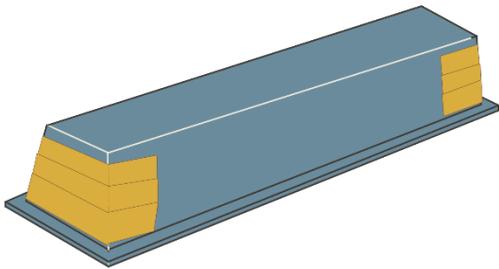
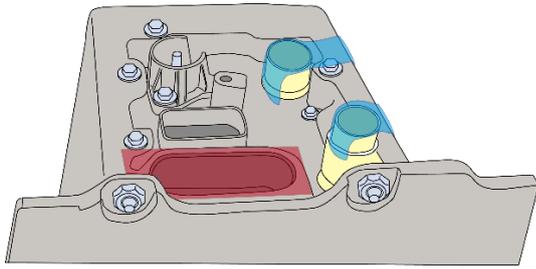
	<ol style="list-style-type: none">1. 荷物室後方のアクセスカバー下側にある、冷却タンクのキャップ[図の1]を取り外しておく。(後工程で、冷却液が抜けやすくするため)
	<ol style="list-style-type: none">2. 車体を持ち上げる時は、正しいジャッキアップポイント (図の[1]) 4カ所で車体を水平に保持します。
	<ol style="list-style-type: none">1. 必要に応じて、リフトポイントにリフト用のアダプター：J-43625 Lift Pad Adapter (1) を使用する事で安全に下記の作業が行えます。2. 車両サイドシル脇のジャッキアップポイントに、リフトパッド (2) をセットする。リフトパッドが確実に車体だけを支えている事を確認してください。3. リフトアップする前に、補機バッテリーの取り外しが完了している事を再確認し、問題なければリフトで車体を持ち上げます。

	<ol style="list-style-type: none"> 1. フロアパネルトンネルパネル後部補強板[図の 3]をとめているボルト [図の 2]を 2 本外します。 2. フロアパネルトンネルパネル後部補強板[図の 3]をとめているボルト [図の 1]を 6 本外します。 3. フロアパネルトンネルパネル後部補強板[図の 3]を後ろにスライドさせて取り外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車体後側、床下の空気整流板をとめているボルト [図の 1]2 本をはずします。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車体後側、床下の空気整流板をとめているボルト [図の 1] 6 本と、ボルト [図の 2] 11 本をはずします。 2. ボルトが外れたら、空気整流板を後方にずらして外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高圧バッテリー冷却用のホースクランプを外し、冷却ホースを緩めます。 2. 冷却液の受け皿を用意して冷却ホースを外し、冷却水を抜きます。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. フロントフロアパネル補強ボルト [図の 3] を取外します (4 本) 2. フロアパネルトンネルパネル補強ボルト [図の 2] を取外します (2 本) 1. フロアパネルトンネルパネル前部補強板を外します

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高圧バッテリーの前側から冷却ホース[図の 2]を外し、冷却液を抜きます。
	<p>☞</p> <p>※ 正しい高電圧作業用の保護具を装着してから以下の作業を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 車体後方で高電圧バッテリーにつながっているコネクタ[図の 1]をとめているボルト 2 本を外し、コネクタをバッテリーから外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車体前方で高電圧バッテリーにつながっているコネクタ[図の 2]をバッテリーから外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボルト[図の 1]を緩め、高電圧バッテリーにつながっているアース線をバッテリーから外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナット[図の 1]を緩め、高電圧バッテリーにつながっている電線をバッテリーから外します。

	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーに冷却ホースをとめているクリップ[図の 1]を抜いてホース[図の 2]を外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーの車体前側の冷却ホース [図の 2] をクリップ[図の 1]を緩めて外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーの車体後側の冷却ホース [図の 2] をクリップ [図の 1] を緩めて外します。 高電圧バッテリーを止めているボルト [図の 3] を外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 車体下側中央のバッテリーを止めているボルトの内、図の○印で示したボルト 8 本を外します。

	<p>1. 外したボルト部分でバッテリーを支えるための角材を2本用意し、バッテリーを支えるリフトテーブルの上に配置します。</p> <p>※ 作業がわかりやすいようにするため、リフトテーブルの図は省略してあります。</p>
	<p>1. 車体の下側に、角材をセットしたリフトテーブルを移動させ、前の工程でボルトを外した位置に角材が来るようにしてからリフトテーブルを持ち上げます。</p>
	<p>1. 高電圧バッテリーを止めている残りのボルト [図の3]18本を外します。</p> <p>※ ボルト位置を示すため、図ではリフトテーブルを表示していません。</p>
	<p>1. 高電圧バッテリー[図の2]に、下記の物はつながっていない事を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気コネクタ ● 冷却ホース ● アース線 <p>2. バッテリーに何もつながっていない事を確認したら、作業補助者にも確認してもらいながら、リフトテーブルを徐々に下げ、車体からバッテリーを完全に降ろします。</p> <p>3. 車体から降ろしたバッテリーの前側、後ろ側を厚手の接着布テープ等できちんと覆って、液漏れや電源部分へ直接接触することが無いようにカバーしてください。</p>



4. 高電圧バッテリーからの冷却水抜き。
車両から取り外した高電圧バッテリーの前後にそれぞれ冷却ホース取付口があります。(図の青く示した箇所：図は前側を示しています)
冷却パイプ部分をふさぐ前に、バッテリーを縦にして内部の冷却液を排出してください。
5. 図に示す高電圧バッテリーの赤い部分に絶縁テープを貼ります。
6. 図に示す高電圧バッテリーの青い部分の冷却パイプにウェス等を詰め込んでからビニールテープで穴をふさぎます。
同じことを、バッテリーの後ろ側でも行います。
7. 高電圧バッテリーの前側、後ろ側を厚手の接着布テープ等できちんと覆って、液漏れや電源部分へ直接接触することが無いようにカバーしてください。

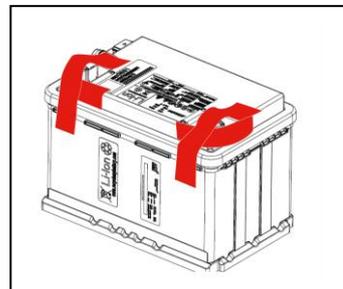
6. リチウムイオンバッテリーの引渡し荷姿、荷造り

A 引渡し前の確認事項（始動用 LN3 型リチウムイオンバッテリー）

A-1 始動用 LN3 型リチウムイオン 12V バッテリーの絶縁処理
始動用 LN3 型リチウムイオン 12V バッテリーの電極（右図赤色部分）にビニールテープ又は厚手の接着布テープなどを巻いて電極部分を覆ってください。

A-2 LN3 型リチウムイオン 12V バッテリーは梱包せずそのままの状態とし、軒先渡し（解体事業者様が、運搬会社が持参する段ボールに格納する）としてください。

A-3 回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。

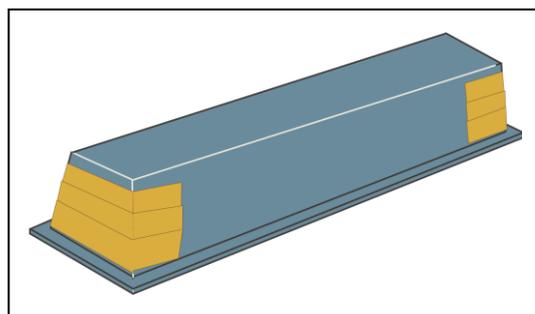


B 引渡し前の確認事項（駆動用高電圧 LiB の絶縁処理と冷却パイプのカバー処理）

B-1 駆動用リチウムイオンバッテリーには冷却水のホースが、バッテリー前後にそれぞれ 2 本あります。高圧電源コネクタは前側に 1 カ所あります。

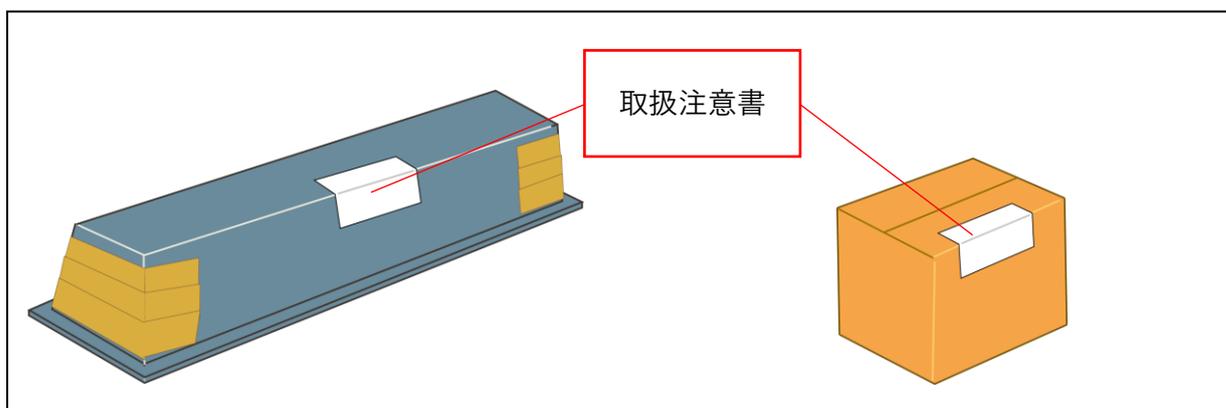
バッテリーの前側、後ろ側を厚手の接着布テープ等できちんと覆って、液漏れや電源部分へ直接接触することが無いようにカバーしてください。

冷却水の抜き取りについては、本紙の 12 ページ以降を参照願います。



B-2 駆動用リチウムイオンバッテリーは梱包せず、取り外して液漏れ、絶縁テープを張った状態での車上渡し（解体事業者様は運搬会社が持参する網パレット等の運搬用具に収め、フォークリフト等で荷台へ載せる）となります。

回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーへの貼り付けをお願いします。



7. 取外しに関する問い合わせ先

高電圧バッテリー等の取外し作業に関する問い合わせ先：

- GM ジャパン・カスタマーセンター フリーダイヤル
(TEL：0120-711-276 受付時間 9:00-18:00 年中無休)